



加刺流の
冬

あ 柳 さ 辛 き 辛
ゆ 辛 女 辛 子 辛
も 辛 下 世 辛 下 辛 辛



ホ 2
413
4止



せ 四三 左	ひ 卅六 左	志 卅三 左	め 十九 右	を 十九 右	わ 初 丁
す 四七 右	も 四十 左	忍 卅四 右	み 廿一 右	ゆ 十七 左	さ 六 左丁





文章假字用格卷之四

豊後

大藏永常著

安部

一言

あ

安阿婀鞅

二言

愛

あい

噫

あい

安房

あ

阿波

あ

粟

あ

阿拜

あ

饗

あ

鱈

あ

青

あ

阿桑

あ

襖

あ

沫

あ

文章假字用格卷四

黄葉園藏

わをわい

ふくうら つ たかあ をるこ へ

栗田 <small>西粟の田地</small>	并	喘息	白馬	惶急 <small>あきとん</small>	價 <small>物の直段</small>	東國	濯	棟
あつふ	あつふ	あき	あま	あき	あひ	あづま	あらふ	あふら <small>木</small>
摠 <small>木</small>	合	聘 <small>相問の美</small>	青木	赤生 <small>信濃郷名</small>	射塚	梓 <small>木</small>	鸚鵡 <small>鳥</small>	障泥 <small>馬具</small>
あつふ	あひ	あつふ	あき	あき	あづら	あづま	あうむ	あつら
鰻 <small>貝</small>	不堪	主	碧海 <small>三河郡名</small>	與	射習 <small>習ふこと野</small>	小豆	奥義	仰
あつふ	あかぬ	あつふ	あき	あつふ	あつふ	あづま	あうぎ	あふ
裕	敢	礚 <small>礚</small>	青 <small>青磁</small>	直	預	洗	安居院 <small>あきね</small>	搏
あつふ	あて	あつふ	あき	あつふ	あつふ	あらふ	あき	あつ

文章假字用格卷四

黄葉園藏

と い ひえ ふね う

淡路	秋鹿	肖 <small>今名ありと云同</small>	値 <small>時</small>	鶯 <small>漢</small>	央	泡
あつら <small>国名</small>	あつら <small>郡名</small>	あえ	あふ	あう <small>鳥</small>	あう	あふ
可憐	秋田	相	遇 <small>人</small>	藍	櫻 <small>吳</small>	罌 <small>吳</small>
あつら	あつら <small>郡名</small>	あひ	あふ	あふ	あう	あう
粟津	英多	押	合	鸚 <small>あつふ</small>	奥	
あつら <small>地名</small>	あつら <small>郡名</small>	あふ	あふ	あう <small>鳥</small>	あう	
啞方	愛子	鴨	逢	鶯 <small>吳</small>	盜	
あつら	あつら	あふ	あふ	あう <small>鳥</small>	あう <small>木</small>	

二言

二言 三言

一

こ 白 志 吸 す い へ

初 <small>杖の名</small>	葵 <small>草</small>	浅井 <small>氏</small>	網代 <small>魚とく具</small>	蓋草 <small>草</small>	會津 <small>陸奥郡名</small>	四言	哀動	挨拶
扇	雞距 <small>雞のけつ</small>	麻生 <small>氏</small>	緋	平安 <small>淡路郷名</small>	相手		哀憐	愛執
會見 <small>伯耆郡名</small>	朝寢 <small>あさね</small>	愛知 <small>尾張郡名</small>	又寧 <small>又寧もよめり鷹の具足革れたるなり</small>	閒	足羽 <small>越前郡名</small>		愛憎	梳齒魚 <small>あはぐら魚</small>
近江 <small>国名</small>	貯 <small>雞の支ふるれ美へ</small>	脚帶 <small>又あしひもよめり</small>	簀	相圖	畔放 <small>田のあせとせり</small>		藍綠	藍綠

あ 三言 四言

二

をりへ つかわ ぶらか

壅	有様	青鈍	陟 <small>海州</small>	周章	贖	誂	侮	競
味	有體	青貝	青柳 <small>氏</small>	沫雪	不能	四阿 <small>家つこ</small>	輕 <small>今ひさし</small>	爭 <small>あかや</small>
紫陽花 <small>あざひな</small>	或者	螟蛉 <small>虫</small>	竹刀	白鹽 <small>食</small>	扱	邊鄙 <small>東人の美へ</small>	麻柱 <small>造作の具</small>	安東 <small>氏</small>
在原 <small>地名</small>	青色	白馬 <small>正月七日命舎の時いし 神代紀に見えり 産屋の具なり</small>	阿伽桶	喝 <small>傷熱</small>	惡口	荒拷 <small>布の古語</small>	安穩	安穩

文章假字用格卷四

黄葉園藏

ひ ちゆ さ さ まや くら

相殿	足弱	朦	朝夕	浅茅生	千歳薬	悪黨	庵室	鮫鱈
あひの	あしよ	あさま	あさゆふ	あさぐさ	あまつう	あくた	あんら	あなう <small>魚</small>
妯娌	蹇	今ハあさめくくく云 そこいれそあり	朝夷	牽牛花	雨乞	悪僧	櫻桃	安泰
あひよめ	あゝ		あさひら	あさぐさ <small>草</small>	あまごひ	あくそう	あな <small>木</small>	あんだい
相對	足	愛甲	朝起	刺	惡業	奥州	安藤	
あひたい	あし <small>足音あり</small>	あゝ <small>相模郡名</small>	あさおき	あまご	あくご	あな <small>国名</small>	あな <small>氏</small>	
相當	亞相	葦原	商	朝津	潦水	危	案内	
あひたい	あさ <small>大納言</small>	あしはら	あさ	あさ <small>越前郡名</small>	あまづ	あやし	あな <small>今云いふめい</small>	

わ四言

三

む らかつ かわを らへい せ

絡繩	姪	五言	愛敬	會釋	赤風蛤	妍哉	洗米
あざかひ <small>四引</small>	あひむと		あつさかう	あへ <small>万葉集</small>	あかかへ <small>奈良のうら</small>	ああ <small>痛く笑やの</small>	あひよめ
飛鳥井	相生		哀傷	無情	青和幣	顯	洗革
あひら <small>氏</small>	あひたひ		あひさけ	あはら	あやあがて	あひる	あひら
	刺刀		臍	綠青吉	漬柿	倭琴	案外
	あひら		あひ <small>切肉合採</small>	あやふし	あはせが	あづま	あな <small>黄葉園藏</small>
	相逢		あひつ				

文章假字用格卷四

黄葉園藏

飛鳥川	相性	相互	驄馬	鼎	阿古筒	銀漢	漁童女	芥川
あひるがき	あひまぢう	あひたがひ	あびうま	あーくち	あこのどう	あまのがは	あまてらめ	あくらがき
	汗巾	當面	相叶	足揃	嘲笑	論	蛙黽	悪性
	あせぬぐひ	あひむま	あひうめい	あーぞろ	あざろま	あげつらふ	あまがらふ	あくまぢう
	反暇	相詞	相構	蟬	朝餉	脂腸	剩	螭龍
	あぜくひ	あひことば	あひうま	あーまらひ	あさぐれい	あがらふ	あまらふ	あまらふ

④ 四言 五言

四

ひまさてふ けまつ をかる

阿房敷	郷食應	青侍	東豎子	騰羽蝶	左右	朝食夕食	相構
あひら	あじまうけ	あやぶしひ	あづまわらひ	あびのてふ	あさひとよ	あさひゆげ	あひうまて
周章	鴨綠江	葵祭	勝計	蟬	相催		
あしてさむ	ありあけがは	あひまつり	あびてらふ	あーやうふ	あひら		
憶原	青海原	蒼生	天岩戸	通草	充行	相伴	
あつら	あやうら	あやひと	あまらひ	あひびく	あてわらふ	あひもあふ	

六言

文章假字用格卷四 ④

黄葉園藏

七言

朝所

あつらんどころ
大政官とありとつて

裕

あせのところも

青摺衣

あはかりのさね
山藍とすけの衣にて小忌のころん

明障子

あかりあやうじ

鶯宿梅

あうまあくま

天吉葛

あまのよさつ

海人栲繩

あまのたぐい

天磐船

あまのつね

近江八景

あつとつとつ

八言

白馬節會

あてうまのせらふ

正月七日に行ふ
禁中の公事あり

仰願

あつとつとつとつ

十一言 十八言

蟻通明神

ありとつとつとつとつとつ
和泉の国あり

青出之藍而青於藍

あおあおよりのであわよりあわ

左部

一言

二言

六

さ

左佐差磋磋娑砂紗散射作社者草舍積柴霜

清音 謝坐座藏邪焚裝奢 濁音

二言

をへい

澤	妻	罪	最
さい	さい	ざい	さい
多	賽	災	財
さい	さい	さい	ざい
副	骰子	菜	在
さい	さい	さい	ざい
棹	犀	齋	祭
さい	さい	さい	さい

う

竿	曹	艘	蒼	壯	相	創	爭	鈔
さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう
早	糟	棗	藏	狀	想	象	諍	巢
さう	さう	さう	ざう	さう	さう	さう	さう	さう
草	粟	掃	桑	裝	霜	像	箏	雙
さう	さう	さう	さう	さう	さう	ざう	さう	さう
造	操	倉	葬	牀	瘡	鎗	抄	窻
さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

ふえ

い

え

雑太	座牌	柴胡	在位	濟度	三言	颯	双
さ <small>備後郡名</small>	ざ い	さい こ <small>葉</small>	ざ い わ	さい ど		さ う	さ う
早良	座配	際目	細工	才智		才	左右
さ <small>筑前郡名</small>	ざ い	さい め	さい く	さい ち		さい え	さ う
作法	障	祭祀	最後	再祚	匙	臟	
さ り	さ り	さい い	さい ご	さい そ <small>天子後位</small>	さ い	ざ う	
澤食	月水	妻子	最期	左右		雜	
さ <small>駿河郷名</small>	さ り	さい い	さい ご	さい り		ざ う	

二言 三言

七

わをい か たのら

く

醜	座頭	蹠	境	誘	權	唱歌	臟腑	雙紙
さ し	ざ う	さ う <small>上同ト</small>	さ い	さ い	さ い <small>農具</small>	さ う	ざ う	さ し
字書よ抄と藏り ありと有り	塀	酒井	逆	授	三衣	總嫁	象牙	草子
さ り	さ い	さ い わ <small>曲岸とん?</small>	さ い	さ い	さん え	さ う	ざ う	さ う
佐伯	騷	榮	茶道	獵矢	暫時	草履	相馬	藏主
さ い	さ い	さ い	さ い	さ い	さん じ	ざ う	さ い	ざ う
佐藤	鬮	塙	砂糖	早苗	掃除	相違	曹子	作意
さ い	さ い	さ い	さ い	さ い	さ い	さ い	さ い	さ い

文章假字用格卷四

黄葉園藏

采幣 <small>幣帛人</small>	裁配 <small>指圖する人</small>	假廢 <small>今さびさびしうば 假廢の轉訛うば</small>	茶園	小竹筒	雜穀	雜糞	作事
財寶	幸福		鯛 <small>魚</small>	榮螺子 <small>貝</small>	亮	雜賀 <small>地名</small>	左様
在番	幸		些少	差圖	寒冷	雜作	下緒
齋藤 <small>氏</small>	再拜		捲 <small>盃の類</small>	棧敷	小枝	雜事	作業

三言四言

ハ

菜桶	在郷	戲射 <small>小射桶</small>	災難	才能	才藝	再々	細辛 <small>葉</small>	細少
妻女	歲旦	祭禮	呵嘖	罪科	罪業	裁許	祭文	賽錢
再往	妻帶 <small>僧の</small>	催促	罪	三枝	再興	彩色	材木	騷
才覺	埼玉 <small>武藏郡名</small>	於檜 <small>工具</small>	再來	際限	最愛	在所	最前	黄菜 <small>菜</small>

文章假字用格卷四(三)

黄葉園藏

う け ぬ

山椒 <small>さんせう</small>	騒動 <small>さうどう</small>	滄海 <small>さうかい</small>	草堂 <small>そうたう</small>	裝束 <small>さうぞく</small>	造營 <small>さうえい</small>	草亭 <small>さうてい</small>	草木 <small>さうもく</small>	昨朝 <small>さうしやう</small>
爭論 <small>さうろん</small>	瘡毒 <small>さうどく</small>	象眼 <small>さうがん</small>	葬禮 <small>さうらい</small>	壯年 <small>さうねん</small>	蒼天 <small>さうてん</small> <small>青天と云ふ同ト</small>	草案 <small>さうあん</small>	窓前 <small>さうぜん</small>	昨夕 <small>さうしゆ</small>
相人 <small>さうじん</small>	相應 <small>さうおう</small>	相談 <small>さうだん</small>	相續 <small>さうぞく</small>	造化 <small>さうくわ</small>	早天 <small>さうてん</small>	早々 <small>さうさう</small>	狹井川 <small>さあがひ</small> <small>大和あり</small>	吟 <small>さういん</small>
藏本 <small>さうほん</small>	草稿 <small>さうかう</small>	相當 <small>さうたう</small>	葬送 <small>さうそう</small>	創業 <small>さうげい</small>	早朝 <small>さうしやう</small>	素麵 <small>さうめん</small>	左官 <small>さうかん</small>	伺候 <small>さうごう</small>

文章假字用格卷四 (三)

黄葉園藏

をりへ くらつか

訕毫 <small>さうごう</small> <small>五月蠅めくれ美</small>	早處女 <small>さうじよめ</small>	早鹿 <small>さうろ</small>	酒煎 <small>さうせん</small>	驍然 <small>さうぜん</small> <small>老屈の姿といひ</small>	三界 <small>さんがい</small>	參内 <small>さんない</small>	侍 <small>さむらい</small>	參詣 <small>さんげい</small>	斬罪 <small>ざんざい</small>
轉 <small>まわ</small> <small>さひる</small>	小男鹿 <small>さうお鹿</small>	棹姫 <small>さうひめ</small>	早速 <small>さうそく</small>	三方 <small>さんぱう</small>	算用 <small>さんよう</small>	士 <small>し</small>	三昧 <small>さんまい</small>	三扣 <small>さんこ</small>	三業 <small>さんごう</small> <small>耳口意</small>
訕 <small>さう</small>	早處女 <small>さうじよめ</small>	佐保姫 <small>さへひめ</small>	察答 <small>さつたふ</small>	三拜 <small>さんはい</small>	殘肴 <small>ざんぎやう</small>	殘奏 <small>ざんそう</small>	殘花 <small>ざんげ</small>	三業 <small>さんごう</small>	三業 <small>さんごう</small>
訕 <small>さう</small>	五月女 <small>さうごめ</small>	牡鹿 <small>さうろ</small>	盃 <small>さうづき</small>	浚 <small>さう</small>	三綱 <small>さんかう</small> <small>君臣父子夫婦</small>	殘黨 <small>ざんたう</small>	參宮 <small>さんぐう</small>	讒言 <small>ざんげん</small>	讒言 <small>ざんげん</small>

(三) 四言

九

さえ ふく う むかつかわりり へ

文章假字用格卷四 (三)	寒返 さえんこう	探題 さたんたい	早春 さうしゅん	叅上 さんじょう	山歸來 さんきらい	三途川 さんづがわ	雜掌 ざうしやう <small>傳奏家社長</small>	松蘿 しょうら	道祖 だうそ <small>陸神 会道陸神</small>
	砂礫 されい	雜行 ざうぎやう	鎗術 しやうじゆつ	象頭山 しやうとうざん <small>讚岐地名</small>	山莊 さんしやう	叅會 さんかい	五味 ごみ	騷敷 さうしき	遮而 しやうに
	細石 さいせき	雜兵 ざうへい	蒼迹 そうせき <small>葉</small>	相承 しやうじやう	相承 しやうじやう <small>下や 別業</small>	殘興 ざんきやう	三番叟 さんばんそう	酒樂 しゆらく	去狀 きじやう

黄葉園藏

と い すひ あみめきこ

在城 ざいじやう	西行 さいぎやう	西園寺 さいいんじ	流離 りゅうり	差合 さあひ	醒井 せいせい <small>江州地名</small>	雀部 すずべ <small>上野地名</small>	侍 し <small>侍坐の美</small>
宰相 さいしやう	罪障 ざいしやう	近曾 きんそう	刺鯖 ささば	三味線 さんまいせん	支 し	支 し	侍 し
蠅聲 しやうせい <small>噪</small>	最上 さいじやう	再會 さいかい	鑄 しゆ <small>鋤の屬</small>	差繩 さしづな	座興 ざきやう	座興 ざきやう	雜巾 ざしん
			鈴征 しゆせい	差置 さしぢ	醒居 せいこ	醒居 せいこ	糝 せん <small>雜炊</small>

五言

四言五言

十

き

左義長	さぎさちやう	三球打	さんぎゅううちやう	正月十五日の式やう門松標繩とたくとやう	
差支	さしつゝ	差向	さしむかう	差控	さしひく

六言

やを

澤蘭	さわらん <small>しん</small>	擲投間	ちやくとうかん <small>投ハ機ノ具ニ</small>	鬪鱸	ぶつろ <small>鳥</small>
----	------------------------	-----	-------------------------------	----	----------------------

七言

猿澤池	ざるざいぢ <small>南都ニあり</small>	曹洞宗	そうどうしゆ
-----	----------------------------	-----	--------

八言

三種神器	さんしゆのぐんざ
------	----------

九言

三尺手拭	さんさつてぬぐい
------	----------

幾部

一言

き

幾支伎岐吉記紀枳企奇寄騎綺既棄巾鬼祈

祇機基忌替嶠清音藝疑擬宜義儀蟻濁音

二言

貴意

奇異

際

木地

久

救

窮

究

休

求

九

咎

紕

朽

舅

宮

白

舊

灸

弓

牛

鳩

及

急

泣

汲

給

笈

消

歸依

雉

瑕

疵

疵と同ト

三言

氣配

黃蘗

極

究

窮

貴報

幾望

歸入

勢

義兵

季冬

妓女

文章假字用格卷四

黄葉園藏

え こふけ

響 <small>同</small>	梗 <small>同</small>	饗 <small>同</small>	敬 <small>同</small>	竟 <small>同</small>	刑 <small>同</small>	景 <small>同</small>	給仕 <small>同</small>	所聞
響	梗	饗	敬	竟	刑	景	給仕	所聞
狂 <small>同</small>	薑 <small>同</small>	莖 <small>同</small>	驚 <small>同</small>	境 <small>同</small>	頃 <small>同</small>	競 <small>同</small>	急死 <small>同</small>	消
狂	薑	莖	驚	境	頃	競	急死	消
行 <small>同</small>	仰 <small>同</small>	京 <small>漢</small>	慶 <small>同</small>	鏡 <small>同</small>	兄 <small>同</small>	傾 <small>同</small>	氣候 <small>同</small>	喜悅
行	仰	京	慶	鏡	兄	傾	氣候	喜悅
杏 <small>同</small>	香 <small>同</small>	卿 <small>同</small>	輕 <small>同</small>	形 <small>同</small>	經 <small>同</small>	喜慶	貴公	機縁
杏	香	卿	輕	形	經	喜慶	貴公	機縁

文章假字用格卷四(き)

黄葉園藏

やのぬ うらつこれ 九 よかぬ

姜 <small>吳</small>	鳩尾 <small>心</small>	弓馬	鉄 <small>鉄</small>	希代	恭	著類 <small>俾因</small>	疑惑	木綿	柵養
姜	鳩尾	弓馬	鉄	希代	恭	著類	疑惑	木綿	柵養
強 <small>同</small>	來居 <small>來</small>	旧地	擻 <small>乾肉</small>	祈禱	凶	御衣	恐	器用	興 <small>吳</small>
強	來居	旧地	擻	祈禱	凶	御衣	恐	器用	興
享 <small>同</small>	昨日	久離	築	綺麗	貴苔	器用	恐	器用	興
享	昨日	久離	築	綺麗	貴苔	器用	恐	器用	興
郷 <small>同</small>	甲	求肥	嫌	競	針	玉	興	玉	興
郷	甲	求肥	嫌	競	針	玉	興	玉	興

(き) 二言 三言

十三

よをぬり ちを す せ 去 めさて

御遊	器量	几帳	葱帽子	祈誓	氣腫	忌明	歸朝
ぎよゆう	きりやう	きちやう	きりぼうし	とせい	きしゅ <small>病</small>	とめい	きてう
清原	剪疵	忌中	極	奇瑞	氣精	奇妙	奇才
きよはら	きりきず	きちゆう	きこくま	とせいの	とせい	とめう	とさい
御盃	砧	吉瑞	議定	氣隨	氣勢	貴酬	器財
ぎよさい	きねい	きらざる	ぎじやう	きずる	とせい	とらう	とごい
許容	祇園會	杠	毬打		義勢	季秋	貴命
きよゆう	ぎえんかい	きり	きりうち <small>見戲</small>		とせい	とめう <small>九月</small>	とめい

三言 四言

十四

つ む う の や

虚勞	龜甲	金鷄	近習	旧根	旧臘	糺明	麴塵	逆意
きよらう	きつがふ	きんけ <small>鳥</small>	きんじゆ	きうこん	きうらふ	きうめい	きくらん	ぎぎやうい
凶事	吉川	吟詠	錦繡	旧冬	究屈	休日	行義	天子の襲は御袍の色、 とて黄蠟、同ト
きよじ	きつがふ <small>氏</small>	ぎんぎ	きんきう	きうとう	きうくつ	きうじつ	ぎぎやうぎ	
御制	吉慶	禁廷	禁制	宮女	旧功	弓箭	祈願	狂哥
ぎよせい	きつげい	きんてい	きんせい	きうにょ	きうこう	きうせん	きごん	きやうり
氣遣	吉左右	金瘡	舊友	休講	旧惡	甲子	菊水	驚怖
きつづい	きつさう	きんさう	きうゆう	きうかう	きうあく	きのね	きくすわ	きやうふ

文章假字用格卷四 (き)

黄葉園藏

きふ やくのう びら

文章假字用格卷四 <small>(き)</small>	聞習	逆縁	驚風	兄弟	行法	形相	向後	宮中	棄物
	きふ	ぎふ	きふ <small>病</small>	きふ	ぎふ	ぎふ	きふ	きふ	きふ <small>いの具</small>
	聞合	客僧	鏡臺	狂人	行水	境界	仰山	昨今	金打
	きふ	きふ	きふ	きふ	ぎふ	きふ	ぎふ	きふ <small>誓約</small>	きふ
	聞覺	急病	杏葉	經藏	京極	行幸	鯁骨	菊綿	金鳳花
	きふ	きふ	きふ <small>馬具</small>	きふ	きふ <small>京師の地名</small>	ぎふ	きふ <small>九月九日</small>	きふ	きふ
黄葉園藏	きふ	きふ	きふ	きふ	きふ	ぎふ	きふ	きふ	きふ

つ より もゑ ぶき えふ

五言	肝煎	起請	氣形	急用	京都
	きふ	きふ	きふ	きふ	きふ
	吉凶	玉體	居住	刑部	歸依僧
	きふ	ぎふ	きふ	きふ <small>官女</small>	きふ <small>草</small>
	毬打	曲水	恐悅	行司	消失
	きふ <small>兒戯</small>	きふ	きふ	ぎふ	きふ
	胡藜	躑躅	給人	聞分	給分
	きふ	きふ	きふ	きふ	きふ

四言 五言

十五

岸和田 地名 きりね

五言六言

六言

几帳面 きちやめん

鬼界嶋 きりがしま

恐惶 きようきやう

玉章 きよあき

乞巧奠 きせうでん

金屏風 きんびやうぶ

甲乙 きのえきのと

麴塵色 きくぢんいろ

祈願所 きごんしょ

行狀 きやうじやう

狂言師 きやうげんし

經卷 きやうゑん

羌活 きやうかつ

聞緒 きんじゆ

起請文 きせうぶん

銘肝 きりねのぼ

八言

も去き やくのむつ よから

半天河

きのうつわのうら

九死一生

今世の一生といふ訛り きうじついつしやう

九言

行住坐臥

ぎやうぢゆうざぶ

歸命頂禮

きんめいぢやうらい

九牛一毛

きうびゅういちまう

十言

恐惶謹言

きようきやうきんげん

由部

一言

由

由遊 由吏 由庾 由愈 由喻 由踰 由瑜

二言

融

ゆう

雄

ゆう

勇

ゆう

熊

ゆう獸

遺

ゆう

由井

ゆう地名

夕

ゆう

木綿

ゆう

故

ゆう

湯坐

ゆう

結

ゆう

三言

弭

ゆう弓の音

湯川

ゆう氏

讓

ゆう

由來

ゆう

ふけくう

勇士

ゆうし

往方

ゆうほう

靱負

ゆう備前 郷名

夕

ゆう

結城

ゆう下総 郷名

靱負

ゆう郷名

四言

由緒

ゆうじよ

交讓木

ゆう木

弓勢

ゆうせい

勇剛

ゆうかう

融通

ゆうつう

勇猛

ゆうもう

遺訓

ゆうくん

遺物

ゆうぶつ

遺跡

ゆうせき

硫黄

ゆうわう

行末

ゆうすゑ

齋

ゆう清 さい

夕榮

ゆうえ

夕顔

ゆうがん艸

白雨

ゆうはら

太白星

ゆう星の名はくせい

みきこ

射

ゆう

弮

ゆう

弦

ゆう

晡

ゆう

鞦韆

ゆう

往反

ゆう

行逢

ゆう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

二言 三言

十七

五言

勇猛 ゆうまう 木綿襪 ゆふづき 夕月夜 ゆづくよ

夕涼 ゆふすゞ 油烟墨 ゆえんぼ 行違 ゆきちがふ

往還 ゆきうき 行向 ゆきむかふ

六言

讓與 ゆづらわらふ 木綿付鳥 ゆふづびどり

ふつ きえ ふう

免部

一言

め 免米賣馬每梅昧迷謎面咩綿璫

二言

明 呉^ミめい 名 同 迷 めい 命 呉^ミめい

鳴 同 醜 めい 銘 刀^カの^ノめい 螟 虫^{ムシ}めい

雌雄 めを 妙 漢^{カン}めう 苗 同 猫 同

姪 めい

三言

を い 去みゆまうむか つを い

明細	名香	明白	瞽	目結	面話	妻夫	名醫
めいさい	めいこう	めいびやく	めあひ	めゆい	めんご	めとと	めいいい
名人	名僧	命日		目見	藁荷	愛	冥途
めいじん	めいそう	めいひち		めみえ	めうが	めづ	めいど
目醫者	酩酊	鳴動		女鹿	苗字	感	冥府
めいしや	めいてい	めいどう		めど <small>獣</small>	めうじ	めづ	めいふ <small>めいふと同</small>
荒蔚	迷暗	迷惑		盲	眩暈	瑪瑙	幽悟
めいじ <small>艸</small>	めいあん	めいご		めまひ	めまひ	めいご <small>玉の名</small>	めいご

二三四言

十九

四言

ま むをい あの う むつか

乳母	面體	麵棒	桂
めのぼ	めんたい	めんぼう	めい <small>木</small>
眼前	妙藥	麪類	滅亡
めのまへ	めうやく	めんるい	めつぼう
妻	妙見	面倒	希見
めあんな	めうけん	めんごう	めいけん
	妙典	面謁	面拜
	めうてん	めんごつ	めんはい

五言

六言

名將	面上	閉目	召仕	免狀
めいしやう	めんじやう	めいもく	めいし	めんじやう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

てつ

滅法界 めつぽうがい 雌蝶雄蝶 めつてつてつ

八言

名所舊跡

めいしゆききせき

五六八言

二十

美部

一言

み 美彌彌未味尾微弭寐民

二言

三保 みやう 水脉 みやう 三輪 みやう 水 みやう

稚 こゝろ 瑞 みやう 所見 みやう

りのて稱美す。

三言

漂木 ひょうぼく 參河 みやう 御臺 みやう 御堂 みやう

文章假字用格卷四 み

二十一 黄葉園藏

つをち

まみえふ やれの ち

文章假字用格卷四(五)	陸奥	水兔	名字	見習	澆水囊	湖	瑞籬	水銀	密通
	<small>らんのわく</small> 国名	<small>うづ</small> 鳥	<small>な</small> 名	<small>み</small> 見	<small>し</small> 澆	<small>う</small> 湖	<small>さ</small> 籬	<small>ぎん</small> 銀	<small>つう</small> 通
	濔標	聾	命婦	三膳	承塵	壬	密計	皆川	密契
	<small>しづ</small> しづ	<small>もう</small> 聾	<small>めい</small> 命	<small>さん</small> 膳	<small>じやう</small> 塵	<small>に</small> 壬	<small>ひそ</small> 計	<small>みな</small> 川	<small>ひそ</small> 契
	準繩	短	身不肖	見送	冥加	水無月	御影供	未熟	<small>み</small> 熟
<small>じゆん</small> じゆん	<small>たん</small> 短	<small>みん</small> 身	<small>けん</small> 送	<small>めい</small> 冥	<small>みづ</small> 水	<small>ごん</small> 御	<small>ま</small> 未	<small>じゆん</small> 熟	

五言

黄葉園藏

つそ

せみき 記ま

みね

つそ

未曾有	滴器	自	蹠	水棹	汀	蚯蚓	微笑	宮居	見舞	獼猴	操	猛	冥	水屑	蚊	三十	罔象	燈靸	魴魴	
<small>みぞ</small> 有	<small>た</small> 器	<small>みづ</small> 自	<small>つ</small> 蹠	<small>し</small> 棹	<small>てい</small> 汀	<small>こ</small> 蚯	<small>せう</small> 笑	<small>みや</small> 居	<small>けん</small> 舞	<small>び</small> 猴	<small>そう</small> 操	<small>まう</small> 猛	<small>めい</small> 冥	<small>みづ</small> 屑	<small>か</small> 蚊	<small>さん</small> 十	<small>もう</small> 象	<small>とう</small> 靸	<small>やう</small> 魴	
四言				<small>くわん</small> 破顔					<small>みや</small> 宮	<small>けん</small> 見	<small>び</small> 獼	<small>まう</small> 猛	<small>めい</small> 冥	<small>みづ</small> 水	<small>か</small> 蚊	<small>さん</small> 三	<small>もう</small> 罔	<small>とう</small> 燈	<small>やう</small> 魴	
				<small>せみ</small> 破					<small>みや</small> 命	<small>けん</small> 命	<small>び</small> 同	<small>まう</small> 同	<small>めい</small> 同	<small>みづ</small> 同	<small>か</small> 同	<small>さん</small> 同	<small>もう</small> 同	<small>とう</small> 同	<small>やう</small> 同	
				<small>せみ</small> 破					<small>みや</small> 宮	<small>けん</small> 見	<small>び</small> 同	<small>まう</small> 同	<small>めい</small> 同	<small>みづ</small> 同	<small>か</small> 同	<small>さん</small> 同	<small>もう</small> 同	<small>とう</small> 同	<small>やう</small> 同	<small>あ</small> あ

四言

二三四言

二十一

水帳	みづちやう	見繕	みつくろふ	密會	みつごひ
澆水囊 <small>僧坊の具</small>	しづくろひ	芟	しづくき <small>艸</small>	宮仕	みやづかひ
明朝	あした	冥助	あやうぢよ	名代	なしろだい
名聞	なきこ	明王	あきこう	明神	あきしん
名目	なめ	名跡	なせき	名号	なごう
猛火	まうか	御教書	ごけいしょ	御影堂	ごえいどう
三十一字	さんじゅういちじ	御厨子所	ごくしどころ	明後日	あきごち
六言					

明星	めいせい	逆耳	さかみみ
七言			
三保松原	さんぼしょうげん	遑合	たうがひ
驄馬	そうば <small>馬</small>		
八言			
明法博士	めいぽうはくし		

志部

志 二言

二十三

一言

志

志士仕之芝師四斯死旨指始信進新式試此

紫次叱司伺詞嗣侍詩思偲施純璽尸子矢資茲緇

清音時事辭

清濁 二音

自慈兒寺盡茸珥餌

濁音

二言

四夷

志い

東夷 西戎 南蠻 北狄

鹽

志や

潮

朝の

志や

汐

志ほ

榻

志ぢ

叙

志よ

皺

志こ

序

志よ

諸

志よ

叙

志よ

如

志よ

よわち かい

む つれ

う

恕

志よ

助

志よ

徐

志よ

汝

志よ

鋤

志よ

處

志よ

所

志よ

自他

志た

日

志つ

質

志つ

實

志つ

賤民

志つ

神

志ん

人

志ん

仁

志ん

甚

志ん

深

志む

迅

志ん

盡

志む

尋

志む

腎

志む

任

志む

刃

志む

燼

志む

受

志う

收

志う

脩

志う

授

志う

守

志う

秀

志う

聚

志う

修

志う

臭

志う

就

志う

柔

志う

愁

志う

文章假字用格卷四

黄葉園藏

をり へ ちりい ひ 志

文章假字用格卷四(志)	鞍	師走	四方	詩歌	三言	慈悲	樹	衆
	志 _{馬具} り	志 _り 走	志 _り 方	志 _り 歌		志 _り 悲	志 _り 樹	志 _り 衆
	潮干	十二月	芝居	弒		強	四時	儒
志 _り 干	志 _り 月	志 _り 居	志 _り 弒	志 _り 強	志 _り 時	志 _り 儒	就	
後	葵	寺法	鮑	春夏秋冬といふ今 四季といふ訛り	椎	就	就	
志 _り 後	志 _り 葵	志 _り 法	志 _り 鮑		志 _り 椎	志 _り 就	志 _り 就	
枝折	醜	仕法	支配		鮫	驚	驚	
志 _り 折	志 _り 醜	志 _り 法	志 _り 配	志 _り 鮫	志 _り 驚	志 _り 驚		

黄葉園藏

ゆ きえ ふ や

壽	紫衣	汁	入	麿	紗	皺	酬	獸
志 _り 壽	志 _り 衣	志 _り 汁	志 _り 入	志 _り 麿	志 _り 紗	志 _り 皺	志 _り 酬	志 _り 獸
需	辭宜	輯	什	蛇	謝	舟	秋	周
志 _り 需	志 _り 宜	志 _り 輯	志 _り 什	志 _り 蛇	志 _り 謝	志 _り 舟	志 _り 秋	志 _り 周
授	食	執	拾	習	邪	酒	首	州
志 _り 授	志 _り 食	志 _り 執	志 _り 拾	志 _り 習	志 _り 邪	志 _り 酒	志 _り 首	志 _り 州
聚	飾	澁	十	集	閣	袖	手	洲
志 _り 聚	志 _り 飾	志 _り 澁	志 _り 十	志 _り 集	志 _り 閣	志 _り 袖	志 _り 手	志 _り 洲

二言

二十四

や く れぬらむ つ

昌	常	自画	師恩	秀句	下枝	沈	實意	前夫
ちやう	ちやう	ぢが	しおん	しうく	げえ	ちん	じつい	まへと
章	尚	四花	四恩	寺院	神祇	雫	倭文	自答
ちやう	ちやう	しはな	しおん	いん	かみ	しづ	わぶん	みこた
商	詳	四隅	天地	仕落	神事	滴	寂然	慕
ちやう	ちやう	しご	こくわ	しらく	かみ	ちつ	じつぜん	まほ
餉	唱	上	仕置	慈恩	舅	實夫	閑靜	下樋
ちやう	ちやう	じやう	しち	じおん	きゆう	じつふ	かんじやう	げひ

文章假字用格卷四

黄葉園藏

た よ か わ

辭退	升	丞	承	乘	四皓	自害	業	紫苑
じたい	しやう	じやう	じやう	じやう	しやう	じがい	ごう	むらさき
次第	松	誦	私用	訟	不若	死骸	習俗	雌黄
じだい	まつ	じゆ	しりやう	じゆ	ふじやく	しがい	じゆく	じやう
時代	辱	鐘	蒸	勝	昇	試毫	恪	仕分
じだい	じゆく	しゆ	じやう	じやう	じやう	じご	かく	しぶん
支體	諸事	種	從	證	彌	寺号	鄙吝	所業
じたい	しよじ	しゆ	じゆ	じゆ	じやう	じごう	びん	しよごう

二言 三言

二十五

えこふけま

文章假字用格卷四 (志)	時候	十夜	自慢	鵲	寂	狀 <small>漢</small>	品	省
	志 <small>こ</small>	志 <small>ふ</small>	志 <small>まん</small>	志 <small>やく</small>	志 <small>やく</small>	志 <small>さう</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>
	至要	集會	師教	釋	若	像 <small>吳</small>	牀	星
	志 <small>え</small>	志 <small>ふ</small>	志 <small>け</small>	志 <small>やく</small>	志 <small>やく</small>	志 <small>さう</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>
枝葉	譖 <small>譖言なり</small>	自業	邪魔	弱	象	裝	猩	聖
志 <small>え</small>	志 <small>ご</small>	志 <small>げ</small>	志 <small>ま</small>	志 <small>やく</small>	志 <small>さう</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>
時疫	伺候	拾遺	嶋津	雀	相	莊	醒	青
志 <small>え</small> <small>病</small>	志 <small>こ</small>	志 <small>ふ</small>	志 <small>まつ</small> <small>氏</small>	志 <small>やく</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>

黄葉園藏

盛	征	請	清	諍	菖	樟	觴	漿
同	同	同	同	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>
淨	鉦	性	情	箏	娼	讓	城	醬
同	同	同	同	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>
靜	成	姓	精	生 <small>漢</small>	釀	障	將	掌
同	同	同	同	志 <small>せ</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>
井	誠	政	晴	笙	爭	壤	匠	傷
同	同	同	同	同	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>	志 <small>ち</small>

(志) 三言

二十六

	よか	り	ねえろ	す	せ	ひ	
文章假字用格卷四	諸方	私領	鹽尻 <small>伊勢物語の詞へ</small>	鹽濱	白妙	糝	四洲
	所用	寺領	後手	鹽竈	素人	自水	蜺
	所帶	死靈	鞞	鹽斷	柴戸	辭世	強
	所用	似我蜂	思量	潮	效嗽	四姓	瘡
黄葉園藏	所用						

	あみめ	ゆき	さあ
縮	塾	主	雌雄
潤	術	死相	子細
春	席	自在	死罪
自身	清水	熟	准

四言

三言

二十七

青龍朱雀
白虎玄武

播磨
郡名

わがらふ

病

伊勢物語の詞へ

馬具

虫

文章假字用格卷四	淨衣	唱歌	正意	麝香	姑	深遠	津液	辛勞	新海
文章假字用格卷四	志平え	志平うら	志平い	志やう香具	志うあ	志んえん	志んき	志んう	志んが氏
文章假字用格卷四	正路	章雅	上意	謝禮	醜女	仁政	心底	神農	神靈
文章假字用格卷四	志平ろ	志平うら	志平い	志やれい	志うらよ	志んせい	志んてい	志んのう	志んき
	生死	生	上手	社僧	秋月	晨鐘	新造	深恩	神通
	志平じ	志平ひ	志平うづ	志やそう	志うづつ	志んそう	志んぞう	志んん	志んぞう
	障碍	正味	賞味	上古	邪淫	秀逸	神明	人口	心痛
黄葉園藏	志平げ	志平うま	志平うま	志平うこ	志やん	志うろ	志んめい	志んこう	志んう

親類	新法	品川	失墜	竹篋	諸生	所望	乘馬	承知
志んるお	志んふ	志んが地名	志つお	志つひ	志よせい	志まう	志まうめ	志まうち
親王	進入	白糸	失念	倭文幣	從順	助言	升麻	稱美
志んう	志んう	志んそ	志つれん	倭文幣志つれん	志つうへん	志ん	志よう薬	志んび
深更	震動	白魚	實體	悉皆	倭文機	諸侯	松露	證據
志んう	志んう	志んう魚	志つてい	志つう	倭文機志つてい	志んう	志んろ	志んこ
信仰	進藤	辛抱	執政	失禮	執柄	助成	觸穢	勝負
志んう	志んう氏	志んう	志つせい	志つれい	志つへい	志よせい	志んけい	志んうぶ

三言 四言

入内	種類	自行	敷栲	仕合	什寶	菖蒲	承壺	莊司
あやたい	あやるお	あきぢう	あきたへ	あわせ	あふじう	あやぶ	あやぶ	あやじ
衆寮	趣向	手印	食籠	十二支	舍弟	牀机	莊屋	
あやぢう	あさう	あやん	あきろう	あふじ	あやてい	あやぎ	あやや	
受納	受戒	朱印	式臺	式法	穉	邪執	障子	浄土
あやぢ	あやえ	あやん	あきだい	あきふ	あぶら	あやま	あやじ	あやど
祝詞	儒道	鐘樓	式禮	敷革	什物	嶋臺	將棊	鉦鼓
あやじ	あやだう	あやろう	あきれい	あきぐ	あふら	あまたい	あやぎ	あやこ

也 きあ ふま

終夜	宿意	膝	摺	推茸	五言	鹹	而	稱嘆
あやうや	あやくい	あやせ	あやまひ	あひなひ		あひごも	あやうし	あやうらん
宗旨	儒教	穴喰	鹿笛	下總		潮満瓊	所領	昇進
あやじ	あやけう	あやくい	あやぶえ	あひなご		あやまらう	あやまらう	あやうしん
宗意	酒宴	師匠	始終			虐	承引	證人
あやうい	あやえん	あやぢう	あやぢう			あつご	あやういん	あやうあん
戎衣	注連繩	縮	侍従					
あやうい	あやわい	あやぢ	あやぢ					

よかへんえ もひ 志め

文章假字用格卷四

黄葉園藏

むつた
の
や

正直	生涯	舍利塔	柔弱	舟中	心外	實性	燭臺
志中うらき	志中うらひ	志中うらふ	志中うらむ	志中うちゅう	志んごうい	志つ志中う	志ようたい <small>器</small>
祥月	生育	情斷	忍戀	周章	尋常	眞鍮	所願
志中うつき	志中うつく	志中うたん	志のぶこい	志う志中う	志ん志中う	志んちゅう	志よごうん
精進	正體	生害	忍緒	愁傷	身上	賢臟	敘爵
志中うどん	志中うたい	志中うがい	志のびのせ <small>曹のひびく</small>	志う志中う	志ん志中う	志んのごう	志よ志中う
						實正	祠堂金
						志つ志中う	志ごうきん

四言 五言

三十

借用	消渴	聖教	唱門師	上段	上人	將軍	相伴	上納
志中うらう	志中うらふ <small>病</small>	志中うけう	志中うらひ <small>朝家の役名</small>	志中うだん	志中うらん	志中うらん	志中うらん	志中うらふ
釋教	傷寒	莊園	相公	上元	上臈	醬油	賞罰	請待
志中うけう	志中うらん <small>病</small>	志中うらん	志中うこう	志中うげん <small>正月十五日</small>	志中うらん	志中うじう	志中うちら	志中うたい <small>人せよのこ</small>
若輩	樟腦	淨瑠璃	莊嚴	城内	上郷	相國	高賣	正明
志中うくこい	志中うらふ <small>葉</small>	志中うらり	志中うらん	志中うかい	志中うけい	志中うこく <small>大政大臣の唐名</small>	志中うびい	志中うめい

文章假字用格卷四

黄葉園藏

ふ じ

去 じ

石橋	執著	執行
自今以後	受領	順風
順道	順禮	祝言
主恩	主命	從者
熟縁	宿業	宿坊
入興	修行	酒狂
壽命	殊勝	衆生
自身番	四十雀	醢
下仕		

五言

三十一

なり む らつた より

潮之八百重	端出之繩	稱名
證明	食傷	次第不同
悉皆人	白木綿花	神今食
白柏子	真如堂	神泉苑
秋海棠	賞翫	清淨
常住	情強	上旬
聖靈	聖護院	城郭

六言

文章假字用格卷四

黄葉園藏

六月十一日禁中にて
行つて公事あり

潮之八百重神代卷

端出之繩上同

稱名

悉皆人

白木綿花

神今食

白柏子

真如堂京都あり

神泉苑京都あり

秋海棠

賞翫

清淨

常住

情強

上旬

聖靈

聖護院

城郭

鹽竈櫻	七言	自問自答	春興	述懷	鳴立澤	十二單	錫杖	猩々
あやぐまごころ		あひんごころ	あやなきよう	あやつらさ	あぎたつこい <small>地名</small>	あつよひこ	あやぢちう	あやうりぐ
鹽土老翁			主従	順熟	西行法師の詠哥 <small>あつら名所あり</small>	自業自得	釋名	菖蒲革
あづのをくら <small>人名</small>			あやうりぐ	あひんあひく		あひんあひく	あやぢちう	あやうぶら
			修驗道	循環	入木堂 <small>手跡の道と云</small>	死出田長 <small>時鳥</small>	紫摩黄金	石塔寺 <small>近江あり</small>
			あやげんごう	あひんごん	あやぢぢだう	あでのだご	あまのわごん	あやたや

六言 七言

三十二

鹽尻嶺	白塗鈴	神璽寶劔	精進物	將軍塚 <small>京師東山あり</small>	時刻到來	四神相應	仁義禮智信
あやぶらりたつ <small>地名</small>	あゝわりのす	あひんごころけん	あやういんごの	あやうごんづら	あゝくたうらい	あどんごらう	あんぎまつらん
倭文手纏	眞行草 <small>文字</small>	舅姑	青蓮院	時候相應	儒釋道 <small>こんと三教と云</small>		士農工商
あづのてごまき	あひんごころ	あゝごころめ	あやうまんわん	あゝうごらう	あやあひくだう		あゝごころ

八言

文章假字用格卷四

黄葉園藏

あ七八九十三言

三十三

聖德太子

あやうとくたひ人名

九言

神功皇后

あんどうこうこう人名

盛者必衰

あやうとくやひつすぬ

積善餘慶

あやせんのよけい

十言 十三言

諸願成就

あよごらんぢやうとど

霍亂

あうようらん病名

交朱者赤

あゆまぢりやうりのいやく

惠部

一言

ゑ上

惠衛田隈穢會繪音咲餌訓

二言

衛まのり

餌え

穢土えど

犬いぬ

鑄金

彫えう

穢多えた

越蘇えそ能登郡名

繪圖えづ

越えつ唐土の国の名

圓えん

洲えん

苑えん吳

園えん同

宛えん同

遠えん同

猿えん同

鴛えん同

焰えん

炎えん

文章假字用格卷四

三十四 黄葉園藏

むつたるぬとい

去みふ

さ くのみらかろ か とに

醜 味 <small>〜</small>	圓座	睬	回向	槐	三言	黃精	繪馬
あひじ	あんど	あひく	あうう	あうん <small>木</small>		あま	あま
噺	豕	<small>氣息で申して 心呻吟あひく</small>	笑顔	屠兒 <small>あひり 舎穢きよ</small>		あふ	あふ
あひぐ	あのと <small>獸</small>		あがわ			あト	
							會座
							あざ
							笑
							あひむ あひる

二言 三言

三十四

むつちと

ひまみふく

餌食	繪所	援兵	遠嶋	圓融	餌袋	醉臥	四言
あひき	あところ	あひん <small>たけのこひかり</small>	あんたう	あんゆう	あぶくろ	あひあ	
	越前	豌豆	猿猴	遠州	女葳蕤	醉醒	
	あぢえ <small>国名</small>	あん豆	あん <small>獸</small>	あん <small>国名</small>	あひざ	あひざ	
	越王	遠慮	淵底	轅門	會釋		五言
	あつわう <small>人名</small>	あんや	あんてい	あん <small>軍門のてい</small>	あひ甲		
	遠方	遠行	鴛鴦	蒼萃	會上		
	あんほう	あんこう	あん <small>鳥</small>	あひ <small>葉</small>	あひ <small>中</small>		

文章假字用格卷四

黄葉園藏

むつか

まみつね

四五六七言

三十五

衛我河

あがの河内地名

餌香市

あがの播磨地名

越中

あつちゅう国名

垣丁座

あへりのご

源氏物語見えり

猿田

あんない

遠境

あんなま

圓寂

あんなま僧の死云

醉狂

あひら

六言

狗尾艸

あぬのこ艸

入咲壺

あつがら

含笑

あまやむ

惠心僧都あんなま

衛士焼火

あとのたひ

七言

會者定離

あやぢやうり

八言

越王勾踐

あつこうせん人名

文章假字用格卷四 八言

三十六 黄葉園藏

去 えを りを

比部

一言

ひヒ

比妣非悲斐飛必秘彼被肥鼻婢賓嬪辟避譬

臂費

清音毗

二音濁

備鼻眉媚寐弭

濁音

二言

微意

ひい

琵琶

ひを

枇杷

ひを果

濕

ひう

肘

ひら支麻

肱

ひら同

臂

ひら同

氷魚

ひや小魚

脾胃

ひぬ

比叡

ひえ山の各

裊

ひえ

冷

ひえひや

秘事

ひト

非時

ひト

僧家昼後の食食

つき たよ かを りと と ろ い

三言

秀

ひいづ

氷池

ひいけ

聶負

ひつぎ

尾籠

びろう

披露

ひろう

披

ひろふ

拾

ひろひ

檜皮

ひもぎ

誹謗

ひまう

秘方

ひまう

偏

ひま

一重

ひとへ

單

ひとく

美童

びどう

美女

びらよ

比類

ひるあ

非類

ひるあ

悲洩

ひるあ

火桶

ひとけ

控

ひうへ

披講

ひうう

美看

びうう

日僱

ひよう

氷

ひよう

頓丘

ひとや小高と丘

非道

ひたう

額

ひん支麻

蔽髮

ひん容飾の具

非禮

ひま

美麗

びま

筆意

ひつひ

櫓

ひつら

文章假字用格卷四

黄葉園藏

二言

三十六

せひ せめとこあえ こけやれのうむらゑ

微笑	鹿尾菜	姫路	悲哀	非業	日置	疲勞	稻のあつう 生ずるこふ
ひせう	ひびと <small>海藻</small>	ひめ <small>地名</small>	ひあひ	ひごふ	ひおき	ひらう	
	蛾	醬	日閒	抄	日向	日向	蹄 <small>足瓜う</small>
	ひ <small>虫</small>	ひ <small>や</small>	ひあひ	ひこえ <small>細き枝</small>	ひあひ	ひむ <small>国名</small>	ひづめ
	雛	聖	秘藏	失聲	病	乾魚	羊
	ひ <small>鳥の子</small>	ひ <small>ま</small>	ひごう	ひごゑ	ひやう	ひうと	ひつ <small>駄</small>
	微少	美人	率	披閱	秘計	丙	火繩
	ひせう	びどん	ひさゑ	ひえつ	ひけい	ひのえ	ひまひ

四言

三言

三十七

とい ら てる つ ちら ねる やく

曾祖母	一人	土方	火威	筆頭	貧乏	日覆	病苦
ひいむ	ひとり	ひら <small>氏</small>	ひ <small>火</small>	ひつ	ひん	ひわ	びやう
偏	一曲	土形	緋威	筆耕	貧道	曾祖父	兵庫
ひ	ひ <small>綿の量</small>	ひら <small>遠江 郷名</small>	ひ <small>紅絲</small>	ひつ	ひん <small>僧の自称</small>	ひわ	ひ <small>摂津 地名</small>
一折	一聲	一筋	引添	貧窮	被官	屏風	白衣
ひ <small>折</small>	ひ <small>声</small>	ひ <small>筋</small>	ひ <small>紅絲</small>	ひん	ひ <small>被官</small>	びやう	びやう
連抱	一棹	泥	鼓子花	平岡	脾胃虚	拍子	黄葉園藏
ひ <small>抱</small>	ひ <small>棹</small>	ひ <small>泥</small>	ひ <small>草</small>	ひ <small>岡</small>	ひ <small>脾胃虚</small>	ひ <small>拍子</small>	ひ <small>黄葉園藏</small>

文章假字用格卷四

黄葉園藏

きさえこ

やくのむ つたよ

文章假字用格卷四 (四)	比叡山 <small>ひえいざん</small>	百艸 <small>ひやくしやう</small>	佛の相好、眉間 白毫 <small>びやくとん</small>	病體 <small>びやうたい</small>	兵法 <small>ひやうほう</small>	非藏人 <small>ひざうじん</small> <small>職名</small>	兵郎子 <small>べいろうし</small>	備中 <small>びちゆう</small> <small>国名</small>	冰壯 <small>ひやうさう</small>
	膝鎧 <small>ひざよろひ</small>	紛拏 <small>ひこづらふ</small>	白蓋 <small>びやくがい</small> <small>佛具</small>	病腦 <small>びやうのう</small> <small>病を治す薬をいふこと云</small>	兵糧 <small>ひやうりやう</small>	平等 <small>びやうどう</small>	晝御座 <small>ひのむま</small>	畢竟 <small>ひつきやう</small>	左社 <small>ひだりやま</small>
	薑 <small>ひさごがら</small> <small>虫</small>	今倍 <small>いまばい</small> <small>らふの反るなり</small>	白象 <small>びやくざう</small>	白毫 <small>びやくごう</small>	病人 <small>びやうじん</small>	平仄 <small>ひやうそく</small>	禁中清涼殿、あそび 天子の御座所なり	白鮮 <small>びつせん</small> <small>艸</small>	必定 <small>ひつぢやう</small>

黄葉園藏

るり と え ひ え きあえこ

飛龍頭 <small>ひりゆうづ</small> <small>油あめの名、秋とて云</small>	一廻 <small>ひとまわ</small>	一重艸 <small>ひとしづ</small> <small>桔梗</small>	琵琶法師 <small>びわほうし</small>	五言	今昔、聖目、とり つれ、艸、いも	比興 <small>ひきやう</small>	檜扇 <small>ひのあふぎ</small>	百會 <small>ひやくかい</small>
翻 <small>ひるがへ</small>	一箇 <small>ひとこ</small>	副車 <small>ひきたまひ</small> <small>後乗とて云</small>	檜皮葺 <small>ひのかわづき</small>	四言	非常 <small>ひじやう</small>	身怯 <small>みきやう</small> <small>懦弱の美</small>	引替 <small>ひきか</small>	藥 <small>いこづえ</small>
無比類 <small>ひるぬら</small>	一抄 <small>ひとす</small>	一番 <small>ひとつづ</small>	琵琶湖 <small>びわのうみ</small> <small>近江の湖、うみの名</small>	三言	杠谷樹 <small>ひらぎ</small> <small>木</small>	飛行 <small>ひぎやう</small>	引負 <small>ひきお</small>	鴨 <small>ひん</small> <small>鳥</small>
						聖目 <small>ひでめ</small>	衿帶 <small>ひきお</small> <small>小帯と云</small>	鴨 <small>ひん</small> <small>鳥</small>

四言

三言

引合 <small>紙の名</small>	ひさあせ	美人艸	びんせう
六言			
太白神 <small>星の名</small>	ひとひめり	費長房 <small>仙人の名</small>	ひらちゅう
光栢	ひらら	燈臺 <small>唐の物</small>	ひらた
鴨越 <small>地名</small>	ひらら	氷鏡	ひらき
評定 <small>敷定まゝなる公の通称なり</small>	ひらら	日入國 <small>唐の国</small>	ひのり
百姓	ひらら	百官	ひらら
籬遊	ひらら	膝髑	ひらら
		鯢魚 <small>大臣以下公卿の通称なり</small>	ひらら
		日之少宮	ひらら
		定額	ひらら
		蘿鬘	ひらら
		痿痺	ひらら <small>病</small>

五言 六言

七言			
氷池祭	ひらら	氷のぬね年凶年あり	
平等院	ひらら	兵法者	ひらら
百日紅	ひらら	飛行自在	ひらら
八言			
緋威鎧	ひらら	細辛	ひらら

文章假字用格卷四

む つよりち と

みえや う らつ九

文章假字用格卷四 ④	門流	木香	用	物理	四言	模樣	囉	悶	
	問答	勿體	盛岡	廻		舩	睛	甕	
	桃生	木瓜	森川	旋子		蒴黃	蒙霧	水雲	
	文盲	盛相	催	鬢		黃葉	蒙古	貫	
	りんきう	りんきう <small>葉</small>	りんきう	りんきう <small>備前</small>		りんきう	りんきう	りんきう	りんきう
	りんきう	りんきう	りんきう <small>地名</small>	りんきう <small>地名</small>		りんきう	りんきう	りんきう <small>海菜</small>	りんきう
	りんきう	りんきう <small>陸奥</small>	りんきう <small>氏</small>	りんきう <small>鷹の具</small>		りんきう <small>色</small>	りんきう	りんきう	りんきう
	りんきう	りんきう <small>飯</small>	りんきう	りんきう		りんきう	りんきう <small>夷国の名</small>	りんきう	りんきう

黄葉園藏

かち 扱えち

基	三言	萌	鍬	二言	摸謨木莽牟儻	も 毛母門問聞悶文目物勿茂忘蒙謀望墓暮慕	毛部			
用		盃	蒙		一言					
餅		鴟	朦							
帽額		然								
りんきう		りんきう <small>草木の芽生</small>	りんきう		りんきう <small>漢ハヤ</small>			りんきう	りんきう	りんきう
りんきう		りんきう	りんきう		りんきう <small>同</small>			りんきう	りんきう	りんきう
りんきう		りんきう	りんきう		りんきう <small>鳥</small>			りんきう	りんきう	りんきう
りんきう		りんきう	りんきう		りんきう			りんきう	りんきう	りんきう

も 二言 三言

四言

も え く う のね ちみ

桃尾	木犀	蒙昧	門葉
りくのて氏	りくさい木	りくまい	りんさふ
	目禮	妄執	門弟
	りまゐ	りまふ	りんてい
	燼	朦く	文才
	りまゐ	りりく	りんさい
	桃井	木像	門人
	りのお氏	りざう	りんじん

五言

百傳	絲色傘	物狂	蛻
りびつせん	りしきさん	りのぐるい	りわけがひ
	文司關	癲狂	物忘
	りぶんかん	りのがごん	りのをしん
	藻鹽艸	乞丐	物思
	りしん	りのがごん	りのおり

三四五言

四十一

六言

持扱	無勿體	門徒宗
りらつ	りたふ	りんと

八言

主水司
りひつりのつと

官名

文章假字用格卷四 ⑤ 六言 八言 四十二 黄葉園藏

世部

一言

世

世勢齊劑制西栖細清音是筮噬濁音

二言

西	誓	姓	成	聖
せい	せい	せい	せい	せい
星	征	制	盛	清
せい	せい	せい	せい	せい
製	贅	勢	誠	政
せい	せい	せい	せい	せい
井	青	靜	生	正
せい	せい	せい	せい	せい

世 二言

四十二

セ

セ

精	鈔	笑	嘯	消	梢	妾
せい	せう	せう	せう	せう	せう	せう
世話	詔	肖	蕭	蕉	硝	世事
せご	せう	せう	せう	せう	せう	せご
照	少	宵	紹	椒	接	
せう	せう	せう	せう	せう	せう	
抄	小	瀟	燒	樵	少輔	
せう	せう	せう	せう	せう	せう	

三言

精氣 せいき
 誓紙 せいし
 制詞 せいし
 歳尾 せいび

黄葉園藏

文章假字用格卷四世

征罰	城樓	施食	笑止	兄	善事	世帶	制
せいばら	せいろう	せいしょく	せうし	せうこ	ぜんど	せうい	せいす
征伐	蒸籠		少微	禪師	施料	約	
せいばら	せいろう		せうび	ぜんど	せりう	せり	
青銅	製法		妹尾	小兒	宣旨	世界	
せいどう	せいほう		せのお	せうご	せんど	せうい	
聖王	成敗		背負	小事	少貳	褌	
せいおう	せいばい		せおひ	せうじ	せうに	せむひ	

④ 二言 三言 四言

四十三

精好	聖堂	青陽	星鳥	逝去	靜謐	蝕	絶入	竊盜
せいこう	せいどう	せいやう	せいじう	せいきよ	せいひつ	せうぶつ	せつりふ	せつたう
制戒	清僧	清渌	星霜	姓名	誓文	舌頭	絶體	
せいがい	せいそう	せいりく	せいじう	せいめい	せいぶん	せつとう	せつたい	
政道	精落	精液	製劑	誓書	盛衰	雪洞	攝待	
せいだう	せいらく	せいえき	せいざい	せいしょ	せいすわ	せつどう	せつたい	
征討	誓約	晴天	制札	精質	世語敷	雪隠	説教	
せいたう	せいやく	せいてん	せいさく	せいしつ	せごふ	せついん	せつけう	

文章假字用格卷四 ④

黄葉園藏

前宵	善哉	專要	洗米	錢湯	全體	船頭	先輩	絶命
せんせう	ぜんざい	せんえう	せんまい	せんとう	ぜんたい	せんとう	せんぱい	せつめい
先生	川芎	先帝	善業	先例	前代	先王	前表	雪舟
せんせい	せんきう	せんてい	ぜんごふ	せんれい	ぜんだい	せんおう	ぜんひょう	せつしゆ
全盛	前日	先哲	前業	先納	仙臺	先考	煎餅	善因
ぜんせい	ぜんじつ	せんてつ	ぜんごふ	せんなう	せんたい	せんこう	せんべい	ぜんいん
泉水	千秋	千歳	戦巧	遷宮	煎湯	線香	仙洞	煎法
せんすい	せんしゅう	せんざい	せんぎやく	せんぐう	せんとう	せんかう	せんどう	せんぽう

四言

四十四

善導	瘡瘍	昭覽	消産	消失	石塔	蟬折
ぜんどう	せうじゆ	せうらん	せうさん	せうしつ	せきたふ	せみせり
鈔録	消息	燒亡	消滅	樵者	寂寥	軟障
せうろく	せうそく	せうぼう	せうめつ	せうしや	せきりやう	せんじやう
小便	少年	蕭條	燒失	井	施行	
せうべん	せうねん	せうじやう	せうしつ	せい	せきぎやう	
書物のうらめしや すゝこりり	今の書札のこゝん 又音信のこゝん	逍遙	詔書	少	夕陽	
		せうじやう	せうしよ	せう	せきやう	

五言

精出 せいしゅつ
成長 せいぢやう
省畧 せいりやく

文章假字用格卷四 ㊦

黄葉園藏

めき う ひ つ

石菖 <small>春のけしき</small>	韶光	小腸	宣命	全快	殺生	精兵	星會 <small>七月七日</small>	勢揃
せきしょう <small>州</small>	せうこう	せうらうち <small>臟</small>	せんめい	せんくわい	せうしやう	せいひやう	せいこうい	せいそく
責使	少將	少納言	仙境	禪定	絶頂	誠恐	誠惶	誠願
せめつし	せうしやう <small>官</small>	せうなごん <small>官</small>	せんきやう	ぜんぢやう	せつらうち	せいこつ	せいこう	せいごん
小春 <small>十月</small>	簫笛	前生	泉涌寺 <small>京</small>	戰場	攝政	西戎 <small>四夷の一</small>	誓願	
せうしゆん	せうてつ	ぜんぶしやう	せんゆう <small>京</small>	せんらうち	せつてい <small>官</small>	せいじゆ		

四言 五言

四十五

う む い めきさ むつりい

文章假字用格卷四	焦熱地獄	仙洞御所	清涼殿 <small>禁中あり</small>	七言	攻戦	千秋樂	善光寺 <small>信濃國あり</small>	誓願寺 <small>京師あり</small>	六言
せうねつじごく	せんどうごしよ	せいりやうてん	せいりやうてん		せめたう	せんしゅう	せんくわう	せいごん	
	前代未聞	誓文拂	前裁合			前裁合	千疊敷	芥生里	
	ぜんたいみもん	せいぶん	せざいあわせ			せざいあわせ	せんじやく	せうのり <small>地名</small>	
			關清水 <small>近江の名所</small>			關清水	千載集 <small>可書の名</small>	說經師	
			せつしみず			せつしみず	せんざいしゆ	せつしやう	

黄葉園藏

八言 九言

征夷將軍

せいのいへうぐん

千變万化

せんべんまんご

千差万別

せんさまんべつ

清淨潔白

せいじやうけつぱく

須部

一言

すス

須春周主取素數州秀珠殊輸酒葛

清音

受授

儒孺聚 濁音

二言

諏訪

す信濃 郷名

筋

すぢ

條

すぢまじりのしやう

數

すう

衰

すゐ

瑞

ずゐ

隨

すゐ

翠

すゐ

推

すゐ

水

すゐ

睡

すゐ

粹

すゐ人の

髓

ずゐ骨の

藥

ずゐ花のすゐ

末

すゐ

季

すゐ子の

文章假字用格卷四 ^十

四十七 黄葉園藏

おうちえ

ゑ

ま く おふつれ かわらと ゑい ひ

巢	吹田	醋漬	素顔	氣條	芋萁	吸	居
すくふ	すわ _{地名}	すつけ	すげ	すけ	すい _菜	すひ _す	すゑ
救	瑞夢	質直	菅井	須藤	蘇枋	陶	陶
すくひ	すむ	すぢ	すげ _氏	すけ _氏	すけ _木	すゑ _氏	すゑ
漉	水司	質朴	菅生	筋目	周防	周淮	周淮
すくひ	すゐ	すぢ	すけ _{河内}	すぢめ	すけ _{国名}	すゑ _{上總}	すゑ
住居	衰微	随意	棄尸	居	洲濱	假髮	假髮
すまゐ	すゐび	すゐ	すぢ	すゑ	すけ _{今云鳥臺のこ}	すゑ	すゑ

二言 三言

四十七

お う むからい すゑあえ

瑞應	水練	寸陰	透垣	不覺	酢和	住
すゐお	すゐん	すん	すけ	すゑ	すゑ	すゑ
西瓜	水損	粹人	筋違	鈴木	素襖	相撲
すゐ	すゐん	すゐ	すぢ	すけ	すゑ _服	すま
隨縁	水囊	水道	菅原	陶	體	體
すゐ	すゐ _器	すゐ	すけ _氏	すゑ	すゑ	すゑ
瑞相	衰老	翠簾	樞要	坐	坐	坐
すゐ	すゐ	すゐ	すゑ	すゑ	すゑ	すゑ

四言

文章假字用格卷四

黄葉園藏

みき ちん へい くらたろ

吹擧 <small>ふきこ</small>	すゐきよ	水牛 <small>すゐぎう</small>	すゐぎう <small>獸</small>	睡眠 <small>すゐみん</small>	すゐん	水神 <small>すゐじん</small>	すゐじん
隨身 <small>ずゐん</small>	すゐん	水主 <small>すゐぬし</small>	すゐぬし	隨食 <small>ずゐじき</small>	すゐじき	糞寶 <small>すゐぼう</small>	すゐぼう <small>五月のこと</small>
活計 <small>すゐぎ</small>	すゐぎ	生業 <small>すゐぎ</small>	すゐぎ	繩墨 <small>すゐま</small>	すゐま <small>工匠の具</small>	住江 <small>すゐゑ</small>	すゐゑ <small>撰津 各所</small>
末廣 <small>すゐひろ</small>	すゐひろ	陶 <small>すゐの</small>	すゐの <small>器</small>	居風呂 <small>すゐ風呂</small>	すゐ風呂	吸物 <small>すゐもの</small>	すゐもの
鈴虫 <small>すゐむし</small>	すゐむし	髻 <small>すゐり</small>	すゐり	額髪 <small>すゐり</small>	すゐり <small>前髪とれとこや</small>		
諏方湖 <small>すゐのうみ</small>	すゐのうみ	駿河舞 <small>すゐがまひ</small>	すゐがまひ <small>東遊のこと</small>	推量 <small>すゐり</small>	すゐり	推量 <small>すゐり</small>	すゐり
素浪人 <small>すゐらうじん</small>	すゐらうじん	醉中 <small>すゐちゆう</small>	すゐちゆう	推量 <small>すゐり</small>	すゐり	推量 <small>すゐり</small>	すゐり

三四五言

四十八

五言

みき ちん へい くらたろ

醉狂 <small>すゐきやう</small>	すゐきやう	垂跡 <small>すゐしゆう</small>	すゐしゆう	隨順 <small>すゐじゆん</small>	すゐじゆん
水晶 <small>すゐしゆう</small>	すゐしゆう	醉妃紅 <small>すゐひこう</small>	すゐひこう <small>牡丹</small>	旋復花 <small>すゐふくが</small>	すゐふくが <small>州</small>
玲瓏 <small>すゐりゆう</small>	すゐりゆう	還魂紙 <small>すゐこんし</small>	すゐこんし	角帽子 <small>すゐかくぼうし</small>	すゐかくぼうし
角田川 <small>すゐかたがわ</small>	すゐかたがわ <small>地名</small>	末遂 <small>すゐつひ</small>	すゐつひ <small>詞</small>	末方 <small>すゐつひ</small>	すゐつひ
忍冬 <small>すゐいとう</small>	すゐいとう <small>州</small>	雀形 <small>すゐめがね</small>	すゐめがね <small>屏風あり</small>		
六言					
違道 <small>すゐだう</small>	すゐだう	數年巧 <small>すゐねんこう</small>	すゐねんこう	水尅火 <small>すゐくわくか</small>	すゐくわくか
水仙花 <small>すゐせんが</small>	すゐせんが <small>州</small>	醋饅 <small>すゐごう</small>	すゐごう	末摘花 <small>すゐつひ</small>	すゐつひ

萬葉あり
紅花あり

文章假字用格卷四

黄葉園藏

七言

隨空轉用

すゐくごてんよう

臨機應変さぶら
たぐひさう

醉狂人

すゐきやうじん

箭頭草

すまふとうぞう草

雙六石

すゐろくのい

末松山

奥州の名所

すゑのまつやま

八言

少納言

すまのものまじ職名

惜寸陰

すんじんやまむ

寸善尺魔

すんぜんさくま

隨緣真如

すゐえんしんじよ

素盞烏尊

すさのうみこと神号

九言

か こ ゑ ま ゐ

翠帳紅閨

すゐらぢやうこうけい

水火氷炭

すゐくゐひやうたん

文章假字用格卷之四大尾

文章假字用格卷四④九言

Blank lined area for writing on the right page.

自跋

昔ふとり用^{かまふ}てさあまのかたがういといふお
 書^{かき}はごまのおのま^まにたけと櫻^{うら}びさふ
 あつ後もやをりさ^す理^りまびたふ事^{こと}なふは
 是^{こゝ}の音^ね神^{かみ}はさふん^んにたまふいふし其^{その}おの^のに
 神^{かみ}たる者^{もの}業^{わざ}乃^{すなは}書を^{しよ}はく^くり^りと^と棒^{ぼう}ふの^のに^に勢^{せい}
 文^{ぶん}より^{より}はく^くさく^くは^はま^まれ^れた^た書^{しよ}と^と棒^{ぼう}く^くは^はま^ま
 海^{うみ}舟^{ふね}の^のま^まち^ちあ^あく^くま^まし^しつ^つれ^れば^ばその^{その}我^{われ}
 形^{かたち}乃^{すなは}た^たぐ^ぐる^る事^{こと}何^{なに}も^もあ^あら^らず^ずて^て学^{まな}ぶ^ぶれ^れを^を志^{こころざし}して

文章假字用格跋一

黄葉園藏

あは大人たひじんの絆絆ふつとるまゝとくまゝと人殺とどろくとあひ
 希たふ色はの大人たひじん乃曰いはくその道まじきけとまじまじにうぶ
 申し己すて女めあそと申まをと申まをと申まをと申まをと申まを
 たりとてやまぬつとて思おもひうさふと申まをと申まを
 もろく乃書しよどももあそと申まをと申まをと申まをと申まを
 あはゆりよまをと申まをと申まをと申まをと申まを
 へ貴たか帳ちやう聖せいづひの書しよの古こ書しよ持て字じ音おんあたりつ
 ひるどあれど古こ書しよの古こ書しよ持て字じ音おんあたりつ
 母はは常じやうふかたそと申まをと申まをと申まをと申まを

後書ごしょのあまひたふ不ふあうぬわさてつぐへし
 如ごとに学まなびにうぶまのいのむ人ひと乃杖つえを便たすかはる
 且かつ同どうて希たふ色はの且かつ暮くれ其その車くるま乃杖つえを便たすかはる
 希たふ色はの且かつ暮くれ其その車くるま乃杖つえを便たすかはる
 てあの人ひと乃杖つえを便たすかはる
 今いまとて申まをと申まをと申まをと申まを
 申まをと申まをと申まをと申まを
 もろく乃書しよどももあそと申まをと申まをと申まをと申まを
 希たふ色はの大人たひじん乃曰いはくその道まじきけとまじまじにうぶ
 申し己すて女めあそと申まをと申まをと申まをと申まをと申まを
 たりとてやまぬつとて思おもひうさふと申まをと申まを
 もろく乃書しよどももあそと申まをと申まをと申まをと申まを
 あはゆりよまをと申まをと申まをと申まをと申まを
 へ貴たか帳ちやう聖せいづひの書しよの古こ書しよ持て字じ音おんあたりつ
 ひるどあれど古こ書しよの古こ書しよ持て字じ音おんあたりつ
 母はは常じやうふかたそと申まをと申まをと申まをと申まを

あつう〜 其考一 言ごの志人をもつて 益ハ 益一
加た〜 孫俊あ〜 せんとうまを 予がう〜
孫ふらうらうらうらうら

庚寅仲秋 大藏永常徳

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

天保四癸巳年

仲秋

黄葉園藏



